

市町村名 北中城村

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	多言語観光案内サイン整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	企画振興課	事業実施 年度	平成30 ~ 令和3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容  
新型コロナウイルス収束後を見据え、観光立県沖縄復活を目的に、今後多くの観光客を迎え入れる環境を整備するとともに、国内外から訪れる観光客の利便性向上を図る。

実施方法  
 直接実施  委託  補助  負担  その他( )

事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
	A. 予算現額		9,374		13,530	6,460
B. 執行済額		8,856		13,530	6,160	28,546
	うち 交付金充当額	7,084		10,824	4,928	22,836
	執行率(%) (B/A)	94.5%		100.0%	95.4%	97.2%
	執行状況の説明	最終的な執行率が97.2%で計画的に執行できた。				

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R年度
多言語観光案内板の設置	目標	4基	-	10基	-	-
	実績	4基	-	10基	-	-
避難誘導サインの設置	目標	2基	-	-	-	-
	実績	2基	-	-	-	-
周辺案内板の設置	目標	3基	-	3基	3基	-
	実績	3基	-	3基	3基	-

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R年度
多言語観光案内板設置完了	目標	完了	-	完了	-	-
	実績	完了	-	完了	-	-
避難誘導サイン設置完了	目標	完了	-	-	-	-
	実績	完了	-	-	-	-
周辺案内板設置完了	目標	完了	-	完了	完了	-
	実績	完了	-	完了	完了	-

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 目標/発現年度	
	外国人観光客の利便性向上に対する満足度(80%以上) ※外国人を含む県外観光客		目標	-	-	-	80.0%	80.0%
			実績	-	-	-	未実施	64.1%
			目標					
		実績						
状況説明	<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性向上に対する満足度は64.1%となり目標を下回った。</li> </ul>							
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)					
<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性向上に対する満足度が目標を下回ったことについては、多言語観光案内サインだけでなく、観光関連事業者を含めた受入体制(外国語への対応やメニューの多言語化等)がまだ脆弱であると考えられる。</li> </ul>			<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語観光案内サインだけでなく、観光パンフレットや飲食店メニューの多言語化、電子決済の導入などを含めた観光客の利便性向上を地域全体で促進していく必要がある。</li> </ul>					
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)								
<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会、商工会と連携し、会員向け第2次北中城村観光振興基本計画についての説明会開催や、満足度向上に向けた観光客ニーズを地域で共有する必要がある。</li> </ul>								

市町村名 北中城村

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	農を活かした北中城活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
担当部課名	農林水産課	事業実施年度	平成28 ~ 令和2 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)

事業内容 水耕栽培実証実験施設の事業施設化に向けた仕様の策定と当該施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥化を食物残渣で賄えるよう、事業化に向けた施設の仕様を策定する。

実施方法  直接実施  委託  補助  負担  その他( )

事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		~H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計
	A. 予算現額		157,691	30,927	30,272	11,232
B. 執行済額		155,475	30,267	29,060	11,209	226,011
うち 交付金充当額		124,380	24,213	23,248	8,967	180,808
執行率(%) (B/A)		98.6%	97.9%	96.0%	99.8%	98.2%
執行状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					

事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
水耕栽培施設の仕様の策定	目標	実証実験設備の整備	実証実験実施	実証実験実施	実験完了	施設仕様の策定
	実績	実証実験設備の整備完了	実証実験実施	実証実験実施	実験完了	施設仕様の策定完了
エネルギー化・堆肥化施設の最適仕様の策定	目標				計画検討	仕様の策定
	実績				検討完了	仕様の策定完了
6次化商品試作品の改良及びテスト販売の実施	目標					実施
	実績					実施

事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
品目毎の最適な施設仕様の策定	目標	実証実験実施の完了	施設仕様の策定完了			
	実績	実証実験の完了	施設仕様の策定完了			
整備地域の電力需要を踏まえた発電施設最適仕様の策定	目標	基本設計の策定	仕様の策定			
	実績	基本設計の策定	仕様の策定			
試作品の改良及びテスト販売	目標		実施			
	実績		実施			
【R2成果目標】 水耕栽培農業者の増:0→6件	目標		6件			
	実績		0件	1件	1件	1件
【R2成果目標】 6次産業化による特産品の開発	目標		3品			
	実績		3品			

	【R2成果目標】 上記の販売事業化となる村内販売店	目 標	2件			
		実 績	1件			

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) <input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	【R3成果目標】 再生資源化村施設の導入	目 標			1件	
		実 績			0件	
	【R5成果目標】 民間による小規模分散型バイオガス発電設備設置数	目 標				2件
		実 績				0件
状況説明	<p>【R3年度】 ・当初は施設候補地を3か所選定していたが精査した結果、実現の可能性がある候補地1か所になったことに加え、当バイオガス発電施設整備に意欲を示している民間事業者による施設整備が期待できることから、現在、候補地の1か所において民間事業者への事業促進を図っている。</p> <p>【R5年度】 ・計画当初は令和5年度供用開始であり、計画よりも遅れているが順調に進んでおり令和6年度に民間供用開始1件の見込みである。</p> <p>【 年度】 ・</p>					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R3年度】 ・R1年度候補地3か所における最大目標値として村施設1件を設定したが、候補地が1か所に絞られ、民間事業者による再生可能エネルギー発電施設整備に向け調整を進めることになったため目標達成に至らなかった。</p> <p>【R5年度】 ・新型コロナウイルスによる工場閉鎖、ウクライナ戦争によるサプライチェーン崩壊による物流の不安定化、半導体不足による遅延等、様々な要因があり当初計画時では考えられない要因により遅れているが今後戻りがないように遂行している。</p>	<p>【R3年度】 ・村施設に代わり再生可能エネルギー(バイオガス)発電設備導入予定である事業者への支援を実施。また、災害時のエネルギー供給について、エネルギーの受ける施設の設置者との協議を進める必要がある。</p> <p>【R5年度】 ・災害協定を結ぶなど、施設の最大活用に努める。</p>

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

<p>【R5年度】 ・再生資源を用いて発電する上で、液肥が発生する。液肥の活用を支援する。</p> <p>【 年度】 ・</p>
--------------------------------------------------------------------------